

謹賀新年

明けましておめでとうございませう。謹んで新春のご祝詞を申し上げますとともに、皆様のご健勝と限りないご清福を心からお祈り申し上げます。さて、年頭にあたり、昨今の本市を取り巻く状況に目を向けますと、長らくデフレ不況下にあった地域経済も、雇用環境や所得に改善傾向が見られ、個人消費、企業の設備投資ともに緩やかな持ち直しの基調が示されてきております。引き続き、政府におけるローカルアベノミクス政策による景気回復の持続や、地方の活性化による新たな国づくりのさらなる伸展に期待するとともに、市政を担う者として、地域経済活性化に向けた政策実現に鋭意努めてまいり所存です。

一方、本市においては、第2期西条市総合計画をスタートさせ、市民の皆様と心を一つに取り組む新たなまちづくりに向けて態勢を整えますとともに、人口減少の克服に向けた「西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、全国からも注目される総合6

次産業都市の推進を核に本市地域創生の事業を進めているところであります。そうした中、今春開館予定の「西条市地域創生センター」においては、地元愛媛大学の拠点機能を併せ持つことで、これまで以上にスピード感を持って地域課題に対応できる体制が構築されることとなりました。

また、日本では数少ない山岳競技施設「石鎚クライミングパークSAIJO」が待望のオープンを迎えたほか、積年の課題であったJR伊予西条駅バリアフリー化への見通しが得られるなど、平成29年度に開催のえひめ国体・全国障害者スポーツ大会に向けた環境整備が進展しております。さらには、道前平野地区国営ほ場整備事業や、東予港中央地区複合一貫輸送ターミナル整備事業の起工など、将来の当地域の発展に欠くことのできない大規模事業も着実に進捗しております。

これら多様な政策展開によって、本市は、産業都市としての発展の基盤を強化するとともに、海上輸送の利便性を

明けましておめでとうございませう。市民の皆様におかれましては、平成28年の新春を健やかにお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は市議会の活動に對しまして、皆様方の多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、地域社会を取り巻く環境は、総人口の減少や少子高齢化の一段の進行、潜在成長率の低下など、社会・経済構造の変化により、さまざまな課題が顕在化しつつあります。

このような中、国においては、昨年を「地方創生元年」と位置付け、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって「活力ある日本社会」を維持していくため、地方への多様な支援と「切れ目」のない施策を打ち立て、地方創生の深化に向けた取り組みを推し進めております。

本市においても、国の施策を踏まえ、人口減少の克服、地域社会・経済の課題に一体的に取り組むため、「西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、西条市版地域創生が動き始めたところであります。

市議会といたしましても、市民を代表する意思決定機関として、本市が抱えるさまざまな課題を解決し、持続的発展を遂げるべく、本会議や委員会活動をを通じて、政策決定に係る議論をじゅうぶんに行うとともに、従来の発想や考え方にとらわれない政策を提案するなど、将来を見据えた舵取りができるよう創意工夫を積み重ね、市の将来都市像である「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向け、最大限の努力を怠りません。また、市民の皆様と協働して、常時時代に対応した地方分権を先導する議会をめぐり、いっそうの議会改

生かした防災・物流拠点、地域資源を生かした人々の交流拠点、産・学・官・金・地域の連携拠点といった四国地方で確固たる役割を担い得る都市として、力強く歩みを進めているところであります。

今後とも、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向け邁進しつつ、地域創生のトップランナーとして全国を牽引する最上のまちづくりに努めてまいりたいと存じますので、皆様の上ながらのお力添えをお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様方からのお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成二十八年元旦

革に取り組むとともに、市民に開かれた議会運営に努め、市民の皆様のご期待に応えられるよう、議員一丸となり全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうか本年も市議会に對しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりましてご健勝で幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成二十八年元旦
西条市議会議員一同



より開かれた議会運営へ
西条市議会議員長 一色輝雄



皆様と共に最上の西条へ
西条市長 青野 勝